

2016 年度

受講者募集

# 北海道自治体学士曜講座

主催：北海道自治体学士曜講座実行委員会

後援：北海学園大学開発研究所・北海道自治体学会

協賛：自治労北海道本部

北海道における地域づくりの担い手や自治体職員および議員の意識変革を支え、北海道自治体学の理論と実践の創造を目指して開催いたします。

## 1 日程・テーマ

受付開始：12:30

開催時間：13:00～17:30

※講師の方のご都合により、内容が変更になる場合があります。

回・月日	テーマ・講師・討論者	※敬称略
第1回 5月7日 (土)	<b>沖縄問題～沖縄の人々の苦難は他人事ではない～</b> 宮本憲一（大阪市立大学名誉教授） 松元 剛（琉球新報編集局次長兼報道本部長） 往住嘉文（北海道ジャーナリスト会議） 森 啓（土曜講座実行委員）	
第2回 6月18日 (土)	<b>私たちはゴミとどう向き合っていくのか～迷惑施設問題が提起するもの～</b> 押谷 一（酪農学園大学教授） 久世薫嗣（核廃棄物誘致に反対する道北連絡協議会代表） 高橋 悟（日本文化行政研究会会員） 小坂 直人（北海学園大学経済学部教授）	
第3回 7月23日 (土)	<b>北海道の持続可能な発展と自治の力～TPPから北海道を守るために～</b> 久田徳二（北海道新聞編集委員・北海道大学客員教授） 菊池一春（訓子府町長） 荒谷明子（メノビレッジ長沼共同代表） 山口敏文（北海道生活協同組合連合会専務理事） 内田和浩（北海学園大学経済学部教授）	
第4回 9月3日 (土)	<b>自治体がつくるワーキングプア～その実態、背景と克服策を考える～</b> 川村雅則（北海学園大学経済学部教授） 自治労単組関係者2名（※交渉中） 稲葉典昭（帯広市議会議員） 鈴木 一（札幌地域労組副委員長）	
第5回 10月22日 (土)	<b>北海道の自治体問題～首長と議員と職員のホンネ討論～</b> 高橋正夫（本別町長） 谷 一之（下川町長） 池田達雄（北斗市議長） 田村英樹（京極町議長） 三浦和枝（自治労北海道本部書記長） 神原 勝（北海道大学名誉教授） 森 啓（土曜講座実行委員）	

## 2 会場

北海学園大学3号館22番教室（札幌市豊平区旭町4丁目1-40）

地下鉄東豊線「学園前駅」下車。3番出口直結。駐車場は利用できません。

## 3 参加費

全5回前納：5,000円 1回分：1,500円（学生無料）

※会場受付でお支払いください。

## 4 お問い合わせ

北海道自治体学士曜講座実行委員会（共同代表：森啓、神原勝、小坂直人、内田和浩）

メール jichidooyo2016@yahoo.co.jp（事務局：北海学園大学内 斎藤、和田）

電話 011-841-1161 内線 2737（北海学園大学経済学部 内田研究室）

携帯 090-5071-1274（森 啓）

※申し込みは不要です。当日会場で受付いたします。

# 北海道自治体学士曜講座 プログラム

## 第1回 5月7日(土)

### 沖縄問題～沖縄の人々の苦難は他人事ではない～

「沖縄問題」と「福島問題」は現在日本の最大の緊急課題である。

警視庁機動隊を常駐させて、軍港をも備えた本格基地の建設を暴力的に強行している実態を、日本の人々はどれくらい知っているか。

日本政府が、沖縄の人々に「危険な米軍基地」を押し付け続ける理由は何か。日本の人々は「明治の琉球処分」から「現在の米軍基地」までの、再三再四の「沖縄差別の歴史」をどう考えているのか。

本土(ヤマト)のメディアは、NHKを筆頭に沖縄差別に加担しているではないか。「沖縄の米軍基地」と「北海道の北方領土」は共通の問題である。

これらを討論する。

#### 第1講 問題提起(13:00～15:30)

「沖縄の自治権と環境権」

宮本憲一(大阪市立大学名誉教授)

「沖縄の現状とヤマト(本土)の報道」

松元 剛(琉球新報編集局次長兼報道本部長)

#### 第2講 パネルディスカッション(15:35～17:30)

【パネリスト】◆宮本憲一 ◆松元 剛 ◆往住嘉文(北海道ジャーナリスト会議)

【司 会】◆森 啓(土曜講座実行委員)

## 第2回 6月18日(土)

### 私たちはゴミとどう向き合っていくのか～迷惑施設問題が提起するもの～

ある日突然、あなたの家の近くにゴミの処理施設がつくられるとしたら、あなたは、それをどう受け止め、どう行動するでしょうか。ゴミには一般廃棄物、産業廃棄物、放射性廃棄物があり、その種類により、影響は大きく異なります。

今回は、現代社会における最も重要な政策課題の1つであるゴミの処理に関連して、「迷惑施設」としての廃棄物関係施設の設置に着目し、市民と行政の両方の視点から公共政策とは何か、まちづくりとは何かを考えます。

#### 第1講 報 告(13:00～15:30)

「(仮)廃棄物処理の広域化について考える」

押谷 一(酪農学園大学教授)

「核のゴミと幌延研究所の現状」

久世薫嗣(くせ しげつぐ/核廃棄物誘致に反対する道北連絡協議会代表)

「札幌最大の歴史遺産が迷惑施設と化した日」

高橋 悟(日本文化行政研究会会員)

#### 第2講 パネルディスカッション(15:40～17:30)

【パネリスト】◆押谷 一 ◆久世薫嗣 ◆高橋 悟

【司 会】◆小坂直人(北海学園大学経済学部教授)

## 第3回 7月23日(土)

### 北海道の持続可能な発展と自治の力 ～TPP から北海道を守るために～

「大筋合意」されたとはいえ、TPP は多くの問題点をはらんでおり、北海道に暮らす私たちはそのまま受け入れることは到底できない。しかし、新たなグローバル化の波は確実に進行してきており、私たちは持続可能な北海道の地域社会発展のために、守るべきものを守らなければならないものをしっかりと見据え、自治の力で守り発展させていかなければならないのだ。本講では、今私たちは TPP から何を守り、どのような未来を見据えて発展させていかなければならないのか。そして、基礎自治体は何をしていかなければならないのかを議論していきたい。

#### 第1講 基調講演（13：00～15：00）

「TPP の危機と北海道の守り方」

久田徳二(北海道新聞編集委員・北海道大学客員教授)

#### 第2講 パネルディスカッション「持続可能な北海道創造のために」（15：10～17：30）

【パネリスト】◆菊池一春(訓子府町長) ◆荒谷明子(メノビレッジ長沼共同代表)

◆山口敏文(北海道生活協同組合連合会専務理事) ◆内田和浩(北海学園大学経済学部教授)

【司 会】◆久田徳二

## 第4回 9月3日(土)

### 自治体がつくるワーキングプア ～その実態、背景と克服策を考える～

貧困をなくす役割が自治体に期待されているその一方で、自治体そのものが貧困をうみだしている。官製ワーキングプア問題である。

自治体に雇われて働く臨時・非常勤職員は、短時間・短期間勤務者を除く総務省の調査でも全国で約60万人にのぼる。彼らの多くは女性で、年収は200万円に満たない。民間労働者ではないからと労働条件決定における労使対等原則は採用されず、一方で、地方公務員法では彼らが長期で基幹的な業務に従事することを前提としていない。法の狭間に落ちた存在である。

他方で、自治体は多くの業務を民間事業者委ねている。財政難や入札制度における競争政策がそこに拍車をかけている。結果、公共事業・委託事業・指定管理者分野などで貧困が生み出されている。しかし、発注者側である自治体は、発注後のことには関心は薄い。2013年秋に札幌市議会で否決された公契約条例はそこに歯止めをかけようとするものであった。だが、札幌市で否決された後、道内自治体で、公契約条例の制定を目指す動きは聞かない。

本講ではこうした問題状況を確認すると同時に、その是正に向けた各地の取り組みに学びたい。

#### 第1講 基調講演と事例報告（13：00～15：00）

「官製ワーキングプア総論」

川村 雅則(北海学園大学経済学部教授)

「自治体の臨時・非常勤問題」

自治労単組関係者2名（※交渉中）

「官製ワーキングペアをなくす議員の取り組み」

稲葉典昭(帯広市議会議員)

## 第2講 パネルディスカッション (15:10~17:30)

【パネリスト】◆自治労単組関係者2名 ◆稲葉典昭 ◆鈴木 一(札幌地域労組副委員長)

【司 会】◆川村 雅則

第5回 10月22日(土)

### 北海道の自治体問題 ~ 首長と議員と職員のホンネ討論 ~

1995年の地方分権改革は進展したであろうか。後退しているのではないか。

自治体首長と行政職員のまちづくり能力は高まっているか。

「議会は何をやっているのかが分からない」から、「無関心」と「不信感」が増大して「議会は必要か」の声すらある。議員のなり手がいなくて「選挙しない議会」が増えている。

自治体の「議会不信」と「行政不信」が、「国政と政権」を監視する批判思考力を衰退させ、民主主義を衰弱させているのではあるまいか。

そこで、首長・議員・職員(労組)が(ホンネ)を出し合って、会場発言も交えて、現状打開の道筋を討論する。

## 第1講 問題提起 (13:00~14:20)

【首長の言い分】

高橋正夫(本別町長) 谷 一之(下川町長)

【議員の言い分】

池田達雄(北斗市議長) 田村英樹(京極町議長)

## 第2講 パネルディスカッション (14:30~17:30)

【パネリスト】◆高橋正夫 ◆谷 一之 ◆池田達雄 ◆田村英樹

◆三浦和枝(自治労北海道本部書記長)

【助言者】◆神原 勝(北海道大学名誉教授)

【司 会】◆森 啓(土曜講座実行委員)

### 【北海学園大学 豊平キャンパス】

地下鉄東豊線「学園前」駅にて下車。

3番出口直結。(「大通」駅より乗車5分、「さっぽろ」駅より乗車6分)

